



心をこめて精一杯活動実施中

加古川市立  
志方東小学校



令和5年度  
学校便り 第23号  
R5.9.29 発行

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果まとめその2

学校便り第22号では、学力調査についてのまとめを掲載しました。今号では学校教育目標に照らし合わせながら、生活・学習状況調査についてのまとめをお知らせします。割合の数値は、児童が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた割合を足したものです。

### 学校教育目標「こころ豊かな たくましい子」

#### 心の教育

- ・「自分には、よいところがあると思う」…83%
- ・「将来の夢や目標を持っている」…83%
- ・「人の役に立つ人間になりたい」…100%

- ・道徳教育の充実
- ・人権教育の推進
- ・特別活動の充実
- ・望ましい生活習慣の定着
- ・特別支援教育の推進
- ・読書活動の推進
- ・情報リテラシー、情報モラル教育の推進

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」…100%
- ・「人が困っているときは、進んで助けている」…83%

- ・「朝食を毎日食べている」…92%
- ・「毎日同じ時刻に起きる・寝る」…100%



#### 使命

- ・「協同的探究学習」を発展させICTと融合させた「加古川型スマート探究学習」の推進
- ・各教科の言語活動の充実
- ・ICT活用のスキル向上
- ・居場所づくり

- ・「課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んでいる」…75%
- ・「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している」…92%
- ・「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」…92%

- ・「学校に行くのは楽しいと思う」…92%
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」…92%
- ・「友だち関係に満足している」…100%
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」…100%

### 【 ICT 教育の推進(GIGA スクール構想実現に向けて) 】

- ・「5 年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したか」  
…ほぼ毎日:100%(兵庫県 22%、全国 28%)
- ・「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは、勉強の役に立つと思う」…100%
- ・普段(月曜日から金曜日)、1 日あたり ICT 機器を学習のために使用している時間が、1~2 時間 25%(兵庫県 10%、全国 11%) 30 分~1 時間 42%(兵庫県 22%、全国 23%)
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいると答えた児童が、83%(兵庫県 27%、全国 32%)と多く、その活動に Chromebook(検索・Google スライドなど)を活用している。
- ・「家庭学習の課題(宿題)として、どの程度 PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしているか」  
…週3回以上 25%(兵庫県 8%、全国 8%)  
週 1 回程度 25%(兵庫県 16%、全国 16%)



### 生活・学習状況調査 まとめ

【成果】 自己肯定感が高く、人の役に立つ人間になりたいと将来の夢や希望をもって粘り強く取り組む態度が育っている。また、学校へ行くのが楽しいと答える児童は多く、良好な友だち関係や学校での居場所があり、普段の生活の中で幸せと感じることが多いなどの満足度を読み取ることができる。引き続き道徳教育、人権教育を充実させたいじめを許さない学校づくりを推進する。従来より、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとする姿勢が授業の中で見られたが、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることや、互いの意見のよさを生かして解決方法を考えるなど協同的な学びにも、積極的に取り組んでいることがうかがえる。ICT 機器の活用は、Chromebook が文房具として定着し、学習活動の中で情報を集めて整理して、調べたことを工夫してまとめて発表するなど、先進校の実践が継続してできている。さらに、ICT 機器を積極的に活用しながら、協同的な学びの中で多種多様な価値に触れ、成長できる環境づくりを推進していく。



日頃から地域ボランティアに支えられ、様々な体験学習を実施している影響もあり、地域の行事に積極的に参加し、社会貢献をしたいと思う児童が多い。これからも連携を図りながら、「ふるさとを愛する心」を育てていきたい。

【課題】 今年度も、「授業以外に 1 日当たりの読書の時間」が 10 分以上、30 分より少ないが 58%、「図書室や図書館へ行く割合」が、月に 1~3 回程度行くまたは、年に数回程度行く 75% など、読書に向き合う時間の少なさが課題となっている。加古川市や兵庫県が進める電子図書を児童に紹介し、いつでもどこでも読める環境で、Chromebook を活用させた読書の推進にも今後取り組んでいきたい。

◎児童生徒の新聞を読む頻度と全国学力テスト各教科の平均正答率を文部科学省が分析しました。中 3 の国語を除いて「ほぼ毎日」が最も成績が良く、頻度が下がるにつれて正答率も低くなる傾向でした。アンケートでは「新聞を読んでいますか」と尋ね、4 つの選択肢を用意し、正答率との関係を調べました。例えば小 6 国語では、「ほぼ毎日」だった児童の正答率は 75.9%、「ほとんど、まったく読まない」の正答率は 65.8%との結果が出ています。